

# 八頭町アートケアリング

主催 | 八頭町教育委員会

八頭町アーティスト・イン・レジデンス事業  
企画 | 労働者協同組合 Barrier House Project YAZU

舞台となる八頭町は豊かな山林に囲まれた中山間地域です。過疎化が進む地域の中では、高齢者が一人で老後を過ごす世帯が少なくありません。社会問題として孤立や孤独死、医療・福祉が深刻な問題になっています。

本法人は芸術が人々の根源的な力に働きかけ、地域をより豊かにする力と捉え、アーティストが滞在することで生活の中でのアート＝ケアを実践していく「八頭町アートケアリング」を企画します。

この AIR 事業の特徴は、地域の方のお家に直接アーティストが宿泊し、地域住民とアーティストが生活を共にすることです。医療や福祉とは別に、アートが広義のケア領域の可能性となり、人々やまちを回復させていくこと、まち自体の存続、さらにまちの資源である広大な自然と繋がることを期待しています。人間同士のケアだけでなく、自然環境を含めてケアを持続していく進行形の「ケアリング」を築いていけたらと考えています。

あーとふる八頭は、八頭町の芸術だけでなくアマチュア天文家・本田實のコレクションのあるユニークな文化施設です。自然、芸術、宇宙、ケア、このような領域横断的な視野のもとで八頭町の潜在力を存続していくために、AIR 事業を通したまちの芸術文化への注力が必要な所以です。

## 報告展示会場

八頭町芸術文化交流プラザ あーとふる八頭  
〒八頭郡八頭町安井宿1346番地  
開場時間：午前10時から午後4時まで  
(但し、祝日を除く月～水は休館)

2組のアーティストが八頭町(安井宿・新興寺)の地区に滞在し、地域の住人の自宅に宿泊し、交流・制作を行います。

2024/11/29 - 12/13 : がかのか族氏 滞在

2024/12/11 - 12/25 : 八幡亜樹氏 滞在

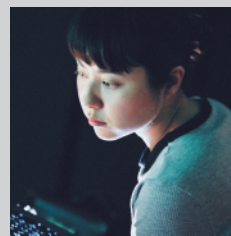
2025/02/06 - 02/24 : 【報告展示】  
八頭町芸術文化交流プラザ・あーとふる八頭にて展示



### がかのか族

夫婦共に画家である幸田千依と加茂昂と息子の燈によるアーティストユニット。家族で子育てをしながらアーティストとしての活動を続けてゆける形を模索し2024年に発足。

生活と制作を繋げてまるごと公開する「公開生活」を様々な場所で家族という単位から始めることで、作家1人では生まれにくい関係性や新たな創作のきっかけを探っている。



### 八幡亜樹 (やはた・あき)

東京藝術大学大学院美術研究科先端芸術表現専攻修士課程修了。

フィールド調査や取材に基づく、領域横断的な美術作品の制作を行なう現代美術家。主なメディアは映像+インスタレーション。「境界」を芸術的な概念として追求し、その一環として近年は「ロードムービー」や「手食」に焦点を当てる。芸術により、人間の生命力を伸張する方法を思索・探究している。

※アーティスト・イン・レジデンスとは、アーティストが一定期間ある地域に滞在して、地域での生活を通じて芸術創造活動を行うこと。アーティストと地域社会の交流により地域の活性化を目指した活動である。



労働者協同組合 Barrier House Project YAZU (バリアハウスプロジェクトヤズ) は、鳥取県八頭郡八頭町を拠点とした、アーティストや建築家、起業家が構成された法人です。将来的に芸術や福祉が感じられる地域の拠り所を里山につくるために、2024年3月に設立されました。本アーティスト・イン・レジデンス事業は、八頭町芸術文化交流プラザ・あーとふる八頭の委託事業として、初年度となるプログラムです。

## お問合せ先

Email: osaki@barrier-house.com  
(労働者協同組合 Barrier House Project YAZU)